

事業コード	H25-建-継-16		区 分	● 国庫補助 ○ 県単独
事業名	広域河川改修事業		部局課室名	建設部 河川砂防課
事業種別	河川改修		班 名	河川・ダム・海岸班 (tel) 018-860-2514
路線名等	一級河川 玉川		担当課長名	河川砂防課長 齋藤 春美
箇所名	仙北市角館町		担当者名	副主幹(兼) 班長 川村 潤
総合計画との関連	政策コード	11	政策名	生活基盤の整備
	施策コード	02	施策名	災害に強い県土づくりと社会資本の長寿命化
	指標コード	01	施策目標(指標)名	土砂災害防止施設、河川、海岸の整備

1. 事業の概要

事業期間	S48 ~ H31 (46年)		総事業費	97.2億円	国庫補助率	1/2
事業規模	計画延長L=6,000m 計画高水流量Q=1,300m ³ /s (1/30)					
事業の立案に至る背景	玉川は、昭和35年7月、昭和47年7月、平成19年9月等大規模な洪水によって繰り返し甚大な被害を受けてきた。特に対象区間は仙北市角館町の資産、人口が集中する市街地を流下することから、築堤や河道掘削、橋梁の架け替えを実施し、洪水による被害軽減に向けた早急な治水対策が必要となっている。					
事業目的	地域住民の生命と財産を守るため、河積確保や湾曲河道是正等の河川改修を実施して浸水被害の解消を図り、安全で安心できる地域づくりを推進する。					
事業費内訳 事業内容 (単位:千円)			計 画 時	評 価 時	増 減	理 由 等
	事業費		13,713,700	9,720,000	-3,993,700	
	経費 内訳	工事費	10,734,300	7,652,000	-3,082,300	
		用補費	2,332,100	1,582,000	-750,100	
		その他	647,300	486,000	-161,300	
	財源 内訳	国庫補助	6,856,850	4,860,000	-1,996,850	
		県債	6,171,165	4,374,000	-1,797,165	
その他		0	0	0		
一般財源		685,685	486,000	-199,685		
事業内容		築堤工 掘削工	築堤工 掘削工		計画流量の見直しに伴う改修区間の減	
事業の進捗状況	全体事業費 97.2億円 平成24年度末時点投資額 84.6億円 事業進捗率 87.0%					
事業推進上の課題	特になし					
関連する計画等	「ふるさと秋田元気創造プラン」において、5つの戦略を支える横断的取り組み(4)社会資本整備の推進の中に、「水害・土砂災害への対応力強化」が位置付けられている。					
情勢の変化及び長期継続の理由	河川改修に伴う用地買収区間に広大な共有地があり、関係者が多数存在するため、用地交渉に多大な時間を費やした。また、河川事業全体の予算制約や全県的な水害の頻発により、事業が長期化している。					
事業効率把握の手法及び効果	指標名	河川整備率				
	指標式	河川整備率=改修延長/要改修延長				
	指標の種類	○ 成果指標 ● 業績指標	低減指標の有無		○ 有 ● 無	
	目標値 a	45.2 %	データ等の出典		県 河川砂防課調べ	
	実績値 b	45.5 %				
達成率 b/a	100.7 %	把握の時期		平成25年3月		

前回評価結果等	<input checked="" type="radio"/> 選定または継続 <input type="radio"/> 改善 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 保留または中止
	①指摘事項
	特になし
	②指摘事項への対応
	特になし

2. 所管課の自己評価

観 点	評 価 の 内 容 (特 記 事 項)	評 価 点
必 要 性	当河川は旧角館町中心部を貫流しており、浸水想定範囲が広く、想定される浸水家屋は167戸と多い。また、市役所支所や市立角館総合病院、広域消防分署等の重要施設も浸水の恐れがあることから、事業の必要性は高い。	28点
緊 急 性	現況流下能力が比較的低く、無堤区間やボトルネックとなっている橋梁等も存在するため、早期に改修する必要がある。また、当該区域は重要水防区域に位置付けられていることから、事業の緊急性は高い。	8点
有 効 性	現況改修であることから経済的に有利であり、河道拡幅等により治水効果の発現が見込まれることから、有効性が高い。また、緩傾斜護岸や階段工の実施により、親水性の向上に努めている。	15点
効 率 性	事業の費用対効果は5.72であり、効率性は高い。また、整備対象区間の絞り込みや、山付け部の有効利用や横断計画の見直しによる片側拡幅及び護岸面積の減により、コスト縮減に努めている。	15点
熟 度	浸水被害解消に向けて、地元からの要望は高い。また、計画立案時に現況の瀬や淵、河畔林を極力保全する形状とし、植生の回復が見込まれるブロックを使用するなど、現況河川環境の維持に努めている。	16点
判 定	ランク (<input checked="" type="radio"/> I <input type="radio"/> II <input type="radio"/> III) 地元からの要望が高く、「必要性」「有効性」「効率性」等から、本事業は高く評価できる。	82点
総 合 評 価	<input checked="" type="radio"/> 継続 <input type="radio"/> 改善して継続 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 中止 事業継続は妥当である。	

3. 評価結果の当該事業への反映状況等(対応方針)

引き続きコスト縮減に留意しながら、事業を継続する。

4. 公共事業評価専門委員会意見

県の対応方針を可とする。

評価種別 継続箇所評価
適用基準名 河川改修事業

事業コード (H25-建-継-16)
箇所名 (仙北市角館町)

1. 評価内訳

観点	評価項目 細別	評価基準	配点	評価点	摘要
必要性	浸水戸数	50戸以上	10	10	
		49～10戸	7		
		10戸未満	3		
	浸水面積	60ha以上	10	10	
		59～10ha	7		
		10ha未満	3		
	重要な公共施設	3施設以上	5	5	
		2～1施設	3		
		無し	0		
	関係者、関係機関との調整	整備計画策定済み	5	3	
協議中であるが特段問題ない		3			
策定に着手していないが予定がある		1			
予定無し		0			
計			30	28	
緊急性	改修目標流量に対する現況流下能力	40%未満	10	5	
		40～59%	7		
		60%以上	5		
	重要水防地域	評定基準区分A	5	3	
		評定基準区分B	3		
計			15	8	
有効性	安全度	災害防止等効果が発現する	7	7	
		災害防止効果は現状と変わらない	0		
	親水性	安全に川と親しむ場として利用が見込まれる	5	5	
		親水性は現状と変わらない	0		
	地域開発の状況	都市計画区域の存する地域	3	3	
地域開発の計画がある		1			
計			15	15	
効率性	費用便益比 (B/C)	1.0以上	5	5	
		1.0未満	0		
	該当項目数	3項目以上	5	5	
		2項目	3		
		1項目	1		
		無し	0		
当初計画事業費からの縮減	減少または10%未満の増加	5	5		
	10%以上30%未満の増加	3			
	30%以上の増加	0			
計			15	15	
熟度	地域住民の事業実施の意向	意向が強く要件の同意をクリアしている	5	5	
		意向が強く要件の同意を概ね得ている	3		
		意向が一部で強いがまだ要件の同意は得ていない	1		
	市町村の参画	積極的に参画し要望書等の提出がある	5	3	
		参画している	3		
		参画していない	0		
	進捗率	計画より進捗している	10	3	
		概ね進捗 (90～100%未満)	5		
計画より遅れている (90%未満)		3			
環境保全への配慮	システムでの環境配慮事項が3事項以上	5	5	システム=秋田県公共事業環境配慮システム	
	システムでの環境配慮事項が1～2事項	3			
	システムでの環境配慮事項がない	0			
計			25	16	
合計			100	82	

2. 判定

ランク	判定内容	配点	判定	摘要
I	優先度がかなり高い	80点以上	I	
II	優先度が高い	60点以上～80点未満		
III	優先度が低い	60点未満		